

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月9日 (2010.12.9)

【公表番号】特表2010-507666(P2010-507666A)

【公表日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-534630(P2009-534630)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 9/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 P

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月21日 (2010.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

候補モジュレーターのCK1活性を阻害する能力をアッセイすることを含む、A ペプチドの蓄積の減少を介してA 関連障害を処置するのに有用なモジュレーターを同定する方法。

【請求項 2】

该方法がさらに、同定したCK1阻害モジュレーターの、A 関連障害の動物モデルでの、および/またはA 関連障害を患う対象での臨床試験で観察される病理学的影響を回復に向かわせる能力をアッセイすることを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

該A 関連障害が、アルツハイマー病である、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 4】

候補モジュレーターのCK1遺伝子発現を阻害する能力をアッセイすることを含む、A 関連障害を処置するのに有用なモジュレーターを同定する方法。

【請求項 5】

该方法がさらに、同定したCK1阻害モジュレーターの、A 関連障害の動物モデルでの、および/またはA 関連障害を患う対象での臨床試験で観察される病理学的影響を回復に向かわせる能力をアッセイすることを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

該A 関連障害が、アルツハイマー病である、請求項4または5に記載の方法。

【請求項 7】

有効成分としてCK1モジュレーターを含む、処置を必要とする対象でのA 関連障害の処置において、A ペプチドの蓄積を減少させるか、または阻害することにおける使用のための、医薬。

【請求項 8】

該A 関連障害が、アルツハイマー病である、請求項7に記載の医薬。

【請求項 9】

該モジュレーターが、CK1のキナーゼ活性を阻害する、請求項7または8に記載の医薬。

【請求項 10】

該モジュレーターが、CK1遺伝子発現を阻害する、請求項7から9のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項 11】

該モジュレーターが、遊離または薬学的に許容される塩形でのIC261、D4476、CK1-7、A3、SB-431542、DRB、ハイメニアルディシン、マタイレジノール、5-ヨードツベルジシン、メリジアニン、およびSB-203580からなる群から選択される、請求項7から10のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項 12】

該モジュレーターが、遊離または薬学的に許容される塩形でのD4476である、請求項11に記載の医薬。

【請求項 13】

該モジュレーターが、遊離または薬学的に許容される塩形でのIC261である、請求項11に記載の医薬。

【請求項 14】

該モジュレーターが、アンチセンスオリゴヌクレオチド、三重らせんDNA、リボザイム、RNAアプタマーおよび二本鎖RNAからなる群から選択される任意の1個またはそれ以上の物質を含み、ここで、該物質が、CK1遺伝子発現を阻害するように設計される、請求項7から13のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項 15】

該モジュレーターが、1個またはそれ以上のCK1に対する抗体、またはその断片を含み、ここで、該抗体またはその断片が、CK1キナーゼ活性を阻害するか、CK1安定性に影響を与えるか、またはCK1細胞内局在を修飾できる、請求項7から14のいずれか1項に記載の医薬。

°

【請求項 16】

該抗体またはその断片が、CK1キナーゼ活性を阻害するか、CK1安定性を減少させるか、またはCK1細胞内局在を修飾できる、請求項15に記載の医薬。

【請求項 17】

該対象が、生物学的サンプル中のCK1 mRNAレベルのアッセイにおいて、コントロールと比較して増加したレベルのCK1 mRNAを有する対象である、請求項7から16のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項 18】

該対象が、生物学的サンプル中のCK1タンパク質レベルの検出において、コントロールと比較して増加したレベルのCK1タンパク質を有する対象である、請求項7から17のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項 19】

(a) CK1のポリヌクレオチドまたはその断片；
(b) (a)のそれに相補的なヌクレオチド配列；
(c) CK1ポリペプチド、またはその断片；または
(d) CK1ポリペプチドに対する抗体
を含む、生物学的サンプル中のCK1のmRNAレベルおよび/またはタンパク質レベルを検出するための診断キットであって、構成要素(a)、(b)、(c)または(d)が、実質的な構成要素を含み得る、キット。